

としょかんだより



1月号

3学期スタート！

2025 年がスタートしました！3 学期は、今年度の総まとめでもあり、次年度の〇学期でもあります。つまり、自分自身の「これから」に関わる重要な時期。3 年生にとってはいよいよ一般入試の正念場。そして1・2 年生は、次年度に向けての土台作りの時期です。**進路**に関する本や基礎固めの参考書など、これからにつながる本を読み、自分たちで充実した3 学期を創り上げていきましょう。

学校図書館の階段下特設コーナーも、「勉強」関連の本を並べました。「勉強」といっても難しい本ではなく、学びの入口になる楽しい本ばかり。勉強が苦手な人・嫌いな人でも読みやすい本がたくさんあります。ぜひ手に取ってみてください！



1/20（月）～1/24（金）面談読書週間

3 学期の**面談読書週間**は、**1 月 20 日～24 日**の 1 週間です。次年度に向けて、これからについて、担任の先生とじっくり話をしましょう。待っている間も落ち着いて読書できるのがこの面談読書週間のいいところ。普段は忙しくて本を読む時間が無い人も、1 日 30 分の読書タイムを有効に使って、読みたかった本を読破できるといいですね。進路関係の本を読むのもおすすめです。

なお、**面談読書週間**は、**学級文庫を設置しません**。**各自で読みたい本を用意してください**。手元に読みたい本が無い人は、当日昼休みまでに図書館に本を借りに来てくださいね。

↓職業調べに！

なるには Books シリーズ



↓どんなことが学べる？

大学学部調べシリーズ



↓高校の授業がどう活きる？

教科と仕事シリーズ



↓まずは漫画から！

漫画で読破シリーズ



今年も開催！函南町立図書館「本のお楽しみ袋」



本校では、函南町立図書館との共同活動をいくつか行っています。その一つが、この「本のお楽しみ袋」。本校の図書委員がテーマを決めて選書した本を、福袋のように中身が見えない状態にして、函南町立図書館で貸し出しました。高校生ならではの感性で選んだこの「お楽しみ袋」、大好評とのことでした！

このように、地域の公共図書館では、季節にあわせた企画やイベントを行っています。蔵書量も非常に多いので、公共図書館にも足を運んでみてくださいね。

この時期ならではのおすすめ本！

先日、第172回芥川賞、直木賞の選考会が行われ、芥川賞には安堂ホセさんの『D'TOPIA』と鈴木結生さんの『ゲートはすべてを言った』の2作、直木賞には伊与原新さんの『藍を継ぐ海』が選ばれました！受賞作の図書館への配架はあと少しお待ちいただきますが、安藤ホセさんのデビュー作『ジャクソンひとり』や、昨年夏の読書感想文課題図書であり、ドラマ化もされた伊与原新さんの『宙わたる教室』は図書館にあるので、まずはそれらから読んでみてはどうでしょうか？

他にも、冬のミステリランキングを総なめにした、青崎有吾さんの『地雷グリコ』もおすすめ！この本は、

昨年の直木賞の候補作にもなりました。

読む本に迷ったら、このような文学賞関連の本を読むのもいいですよ♪

